総会発言

世話人会、宣伝署名、総会が力に

青森市の会　村上　大二さん



活動を再開して15年、毎月の世話人会と東青各界連と合同の宣伝署名行動、年1回の総会は必ず実施しています。昨年は、11月梅村さえこ全国常任世話人の学習講演会と総会を開き、35人が参加しました。世話人は10人。会報読者は、70人程でしたが昨年、今年がんばって110人を超え、「読者だより」を挟み、配布しています。パンフレットは、各界連加盟団体の協力も得て450部普及、さらに100部追加注文しました。

悩みは、世話人が70代後半で高齢化がすすんでいますが、保健生協や新婦人の働き盛りが参加してくれると励まされます。また11月1日告示で青森市議会議員選挙があり、消費税の要求で一致する候補者を応援しますが、世話人が各個別選対の重要な役割を担っています。

会の再開と新しい会結成に挑戦

岩手の会　藤村　敬吾さん



常任世話人は、3年前まで7人、今5人ですが、病気、高齢で体調を崩したりすることが悩みです。各界連の24日宣伝に参加しますが、会独自に生協の「生活支援デー」の1日か15日に店舗前を借りて宣伝署名をしています。毎回7～10人の参加、30分で約20人の署名が寄せられます。食料品だけ1％に怒りが寄せられ、「財源は国民にしわ寄せか」「棚の商品に手を出すが高くて戻す」等の怒りの声が聞かれます。

地域の会は1990年発足時33の地域の会がありましたが、現在活動しているのは5カ所、他の会を再開させることが課題です。先日、滝沢の会がパンフで学習し、再開の目途が立ちました。大震災で壊滅的な被害があった陸前高田市に新たな会をつくる相談をしています。

インボイス廃止をめぐって地方議会に変化

埼玉の会　川嶋　猛さん



2024年12月に埼玉県議会がインボイス廃止を求める意見書を可決したことは、全国の運動を大いに励まし、世論と運動が県議会を動かしたという事が確信になりました。

さらに、埼玉県議会は26年3月にも同様のインボイス廃止を求める意見書を可決しました。いずれの意見書も自民党が提出者で、インボイスについて、軽減策ではなく「廃止こそ最良の策である」と断じているのが特徴です。反対した公明党が、2度目の意見書に賛成に回ったことが大きな変化です。消費税廃止埼玉連絡会は、県内市町村議会にも、インボイス廃止の

CHIHIRO CALENDAR
いわさきちひろカレンダー
世界中のこども　みんなに
平和としあわせを
このいわさきちひろのねがいをこめて、
いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、
心から心へ、ひろがっています。
いわさきちひろ作品普及会

消費税ノー！
税理士法人　第一経営共同経理
代表社員　税理士　田中　芳幸
社員　税理士　荒尾壽味雄
〒861-1305　菊池市北宮三一七一一五
☎〇九六八（二五）一〇三六

意見書を上げさせようと請願運動を提起。14の市町議会で請願採択または意見書採択をしています。埼玉連絡会とともに、消費税減税・インボイス廃止に力を尽くしたいと思っています。

地域になくてはならない存在に

東京・六郷の会　常任世話人　向井　初江さん



六郷の会の最初の目標は「みんなで明るく元気に楽しく宣伝しましょう」と「学習したら行動」ということをモットーで、地域のいろんな運動をしている人たちが集まって始めた会です。最初は30人ぐらい集まったんですけど、いま15人ほどでやっています。自分達が楽しめる活動にしていきたいと思ってます。

演説する人だけがやってたんじゃ面白くないから、「戦争反対」、「9条を守れ」、「消費税は5％に」とコールすると、みんなもまた追っかけてコールするんです。そうすると「今日は宣伝に来て、なんか元気が出た」って言うんです。私達が元気をもらうように、地域の人達にも私達が毎月やってることが元気を与えているのではないかと思っています。私たちはこの地域にはなくてはならない。そういう存在になりたいと思っています。

パンフ2千部普及を目標に

神奈川の会　石黒　のぞみさん



神奈川の会の事務局になったばかりです。事務局会議で大門さんの話を読み合わせし「便乗値上げを含めて、かつてない大増税になる危険がある」と書いてあってびっくり。「こういうことは一般の人はあまり知らない」ので「ノー消費税」の普及は大切だと思いました。

また、26年パンフは読みやすくわかりやすい。建設労連の人と私、事務局長の三浦さんでパンフの普及と「ノー消費税」の拡大を目的に労働組合や民主団体などを訪問。民青をやっていた時の知り合いがいて、注文の約束をしてくれました。

日本共産党県委員会では「今度の臨時国会で食料品1％と給付付き税額控除が議論されるので、対話ができるようにパンフを注文して、読み合わせ学習を」と呼びかけを出すことに。手応えを感じており、パンフ2千部普及を目標にすすめているところです。

毎月のニュース発行で市民の声を紹介

三重の会　大川　博さん

私が「三重の会」に参加して13年が経過しました。当時は「ノー消費税三重県版」は不定期の発行でしたが、事務局長になって、まずニュースの毎月発行を決めました。2014年1月の20号から12年、現在は読者からの声もあり読みやすいように文字を大きくし172号まで毎月発行しています。記事の内容は毎月24日の宣伝行動などで寄せられた街の声や学習会や総会、議会請願の様子、時々の政治的な話題です。



総会で発言するにあたって152号を1枚ずつめくって読み返しました。いろんな活動の記事を見て、もう少しがんばらなくてはと思いました。1年に1度総会を開催し学習を行っています。大門みきし参議院議員が講師の時は100人が集まりました。いま運営委員は6人だったのが4人に。新しい仲間を入れて活動を広げていきます。

▽訂正＝422号（9月発行）の「エッセー」中の国保の国の負担率を38・5％に訂正します。

活動の積み重ねが「消費税減税」を政治の争点に押し上げた

和歌山の会　吉田　小雪さん



和歌山の会は１９９０年９月に結成、事務局長が代わっても毎月24日に各界連との共同で労働組合の方に合わせてＪＲ和歌山駅前で昼休み宣伝を継続してきました。

ポケットティッシュにチラシを入れて２００個を配布し、15～16人から「物価が高いから何とかして欲しい」の声とともに署名が寄せられます。９月24日の宣伝では「消費税をゼロに！」の訴えに「財源は？」の質問があり「大儲けしている大企業や、税金の負担を優遇されている大金持ちから」と話します。誕生以来大事にしてきたのは、月１回の常任世話人会。この会議で事務局長作成の１８０号を迎える県の会のニュースの配達の仕分け。ニュースは写真がたくさん載っているので「誰々さんが載っている」と運動を身近に感じてもらい好評です。手配りが増え還元金で財政的にも潤いが。事務局長がパンフレットを使った学習会に参加し、会の知名度アップと財政もプラスに。民青への学習会も呼びかけています。今の課題は担い手づくり。活動のバトンを引き渡しながら頑張ります。

新しい挑戦で活動

京都の会　横山　榮二さん



今期は新しい挑戦をしてきました。一つは２０２６パンフレットです。パンフレットを読んで一番感じたのは、これは素晴らしいし、分かりやすいということで、これは普及しないかんと。いろんな団体を回り、約６００冊ちょっと普及し、それが力に。新しい役員さんが若い青年と３人で学習会をやるなど、３回学習会を開催。私自身もはじめて講師として学習会に呼ばれ、10人が参加しました。

二つ目の挑戦は、デモカレンダーに３回、なくす会の宣伝行動が掲載され、７５０通のいいね、が来て宣伝にも参加。同志社大学門前での宣伝では若い人との対話ができました。

ランチが１２００円物価高本当に頭にきているとの声。対話をすれば変化はつくれます。今度の国会でも消費税が大問題に。私たちが36年間活動してきたことがこういう状況をつくってきた、ここに確信持って新たな決意で望んでいきましょう。

維新の攻撃から府民を守る

大阪の会　為　仁史さん



今大阪では、維新が大阪市をなくして一つにしてしまうということをやっています。財源を全部大阪府が握るということをやっています。その具体的なのが国民健康保険なんです。全国で初めて統一されました。それで全国で一番国民健康保険料が高い。でも医療費は全国から14番目です。各衛星都市から納付額を取り上げて大阪府だけ大黒字。各衛星都市は50％の赤字、そんな事態が今起こっています。

なくす会、増税に反対する関西連絡会、消費税廃止大阪連絡会この３団体が定期的に会議を開いて相談し合っています。３団体共同で今度湖東京至税理士の講演会も予定しています。地域のなくす会がスーパー前で宣伝をやって、その行動で出された消費者の声が常任世話会で反映されてより運動が一層進みます。頑張りましょう。

みなさんの発言で元気が出た

山口の会　岡屋　房枝さん

毎月24日を目安に行動日として、署名活動、街頭宣伝、それから



ティッシュ配りなどをやって活動しています。12月には各界連の方に応援していただきシールアンケートも行いました。毎年4月1日の行動日には、みんなでアピールしながらデモ行進をやっています。

去年は総会で、下関市立大学の関野秀明先生に来ていただいて、講演をしてもらい学習会をいたしました。今年は80人の参加で6月に大門みきしさんに来ていただいて講演をしていただきました。

この総会には毎年ズームで出席しています、皆さんの活動を聞いて大変参考になります。

事務局長をやっていて悩みもあるんですが、今日のたくさんのお話を聞いてもう一度頑張って、やっていきたいなと今思っているところです。ありがとうございました。

飛び入りで署名参加など変化 若い世代への継承に期待

高知県の会　金子　陽子さん

高知市の日曜市での宣伝と消費税廃止各界連の宣伝を行っています。8％から10％に上がったころは、「署名しても無理、無理」との声が多かったのですが、最近は大変な物価高で苦しさを訴える人が多く「本当に減税できるのかえ」と聞いてくる人もあり、私は国民の声が2月の総選挙でのほとんどの政党の「減税公約」につながったことや財源、署名の必要性などを話しています。最近、「それならこの辺りで署名を集めてやる」と飛び入り参加の人が5人分を集めてくれたこともあります。大きな変化が出ていることを感じます。また事務局長は40代で、県内の南国市、香美市、香南市では若い世話人が独自に宣伝を行っています。若い世代へ運動をつなげ、地域の会をもっと大きくしていきたいと思います。



読者300人、パンフの普及と学習宣伝の定期化、地域の会結成を

福岡の会　田崎　幹朗さん

福岡県の会の現在の到達は読者226人、地域の会は3つにとどまっています。読者は1年間で50人増やし24人減らしました。学習と地域の会の結成と活動の大切さを痛感しています。

9月は常任世話人会を拡大常任世話人会として開催し、新しい人が常任世話人になってくれました。北九州市に新たに常任世話人が生まれたことで活動の範囲が広がることを大変うれしく思っています。「ノー消費税」読者を9月24人、10月は4人増やしました。11月は福岡県の会の総会を予定しています。ニュースの定期発行、商店街の宣伝行動、議会請願の取り組みなどまだまだ多くの課題を残しています。来年の全国総会に向けて、今度こそ読者300人、パンフの普及と学習宣伝の定期化、地域の会結成を目指して奮闘したいと思います。



会員を毎月拡大、1年で2倍に

福島・郡山の会　渡辺　政孝さん

郡山の会は、23年の秋から活動を始め今月で丸3年です。11人の会員と4人の世話人で出発。宣伝、署名は、毎月24日45分間、郡山駅西口で行います。1年間で参加はのべ118人、署名179人、平均すると毎回10人の参加で署名は約15人です。24日前に世話人が集まり、宣伝の準備を確認し、ニュースで前月の様子を知らせ、今月の案内を



します。それを見て参加する方も増えています。

世話人は、今年初めて女性の方が加わり5人となりました。会員は去年の総会時13人でしたが現在26人。毎月1人増やそうと1年間で13人増えました。パンフレットは、民商の協力も得て80部を普及、会の財政にも寄与しています。継続は力でコツコツと会員、会報読者を増やしています。

日本を戦場にさせない運動とあわせ地震救援、パンフ学習



熊本の会　西川　悦子さん

熊本地震へのお見舞ありがとうございました。被害のひどかった八代市、氷川町、宇城市などは生活再建に様々な問題が起きており、引き続き支援が必要です。

パンフレットの学習会は新婦人で3回、荒尾市の共産党支部主催で1回、熊本母親大会の分科会で1回開催し、のべ130人が参加しました。

「消費税は社会保障の財源というけれど、実際は社会保障費はどんどん削減されている」「板金業だが売り上げが1千万円なくても仕入れ先からの要請で課税事業者になり消費税の負担が重い」との意見も寄せられました。

熊本の自衛隊健軍駐屯地に今年3月長射程ミサイルが配備されましたが10月23日から始まる日米演習に投入されます。

消費税一律5％への運動と合わせて日本を戦場にさせないためのさまざまな運動も取り組んでいきます。

暮らしと営業はますます困難に

常任世話人　梅村　さえこさん

暮らしと営業は物価高騰や金利上昇でこれまでの延長線上ではありません。



早朝宣伝で、通勤客に向かって座ってお金が欲しいと訴える人や駅周辺にホームレスが増え、生活保護や住まいの相談もあります。インボイス導入からこの1日で3年。今月から特例措置が改悪され納税額が1・5倍になるフリーランスもいます。インボイスは廃止させましょう。

臨時国会の最大焦点は消費税減税。消費税導入から37年、消費税減税が国政史上初の中心課題になることは運動の成果です。

同時に、政府の食料品の消費税を2年に限り1％にする案は、将来の消費税増税につながりかねません。「消費税は一律5％こそ」「タックスザリッチ！　財源はある」、国会の力関係を変えて消費税廃止をめざす「会」。比例定数削減にノーの声を広げましょう。

【文書発言】

運動する私たちの視点について

静岡の会　松内　是卓さん

私たちの運動をどんな視点で取り組むのか。社会保障を削減しようという意思を持った張本人が消費税を減税すると公約して、総選挙で勝ってしまったという事実から、①消費税が弱い者いじめというなら、国民健康保険制度改悪も生活保護制度への攻撃も弱いものいじめのシンボルだという認識がいっそう宣伝するうえで必要になってくる、②弱い者いじめの結果として消費税なら組織することは不可能ではない。静岡でも、活動再開するのに、どこに相談したらよいか分からない。分からなくても活路はあるという確信は持ちたい、③どこの民主団体も社会保障系は民商も民医連もわが生健会も存亡の危機である。そういう時こそ、要求と市民運動は確信して、自らの組織の存続さえよければいいという考えでなく、共闘を進めていきたい。

討論のまとめ

上敷領　千枝子事務局長

出席者はオンラインを含め、75人でした。報告と提案、２０６人の世話人、20人の常任世話人、国民のみなさんへの呼びかけが確認されました。発言者は15人で、役員の高齢化などの悩みを抱えながらも新しいことへの挑戦、青年への働きかけ、フリーランスの人たちとの結びつき、地域の会の結成・再開、真ん中世代の人たちの活動参加など発言は今後の活動に希望を与える内容でした。

また、全国の奮闘で前総会から１９８人の読者を増やして今総会を迎えたことも大きな確信になりました。来年の総会では５３００人の最高現勢を大きく突破させることを呼びかけます。

臨時国会では消費税減税が最大の焦点になります。大企業や富裕層に応分の負担を求め、消費税は廃止、ただちに５％に減税、インボイス廃止を実現させましょう。

閉会のあいさつ

常任世話人　松田　周平さん



２年前に日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。私はこのことに大変励まされています。草の根で地道に活動していること、そして憲法を変えれば戦争税と言われる消費税を廃止していこうという私たちの運動ですから、兄弟的な団体が受賞したということで、私はそこを励みに運動しております。消費税は上がるものと多くの方の意識が強い中で、下げることが私たちの運動によってできそうだと思います。やはり今日の発言の中でもあったように私たちはこれを確信に持って、そして中途半端で終わらせるのではなくて消費税５％減税。これを皆さんと一緒に勝ち取っていきたいと思います。最後に、全国では身体を壊されている方も少なからずいらっしゃいます。皆さん、身体に気をつけながら消費税廃止を生きがいにお互いに頑張っていきたいと思います。このことを確認しあって、私からの閉会の挨拶と致します。

総会で選出された常任世話人

（五十音順　敬略称）

梅村さえこ		大川	博
上敷領千枝子（事務局長）			
川嶋	猛	木口	力
木野	下章（新）	慶野	靖幸（新）
嶋岡	千年（新）	田崎	幹朗
中根	耕作	西川	悦子
服部	雅	前沢	淑子
丸山	健二	三浦	謙一
松田	周平	向井	初江
吉田	孝喜	若杉	秀夫
渡辺	清志		

常任世話人を退任された方

（敬略称）

上野美知代　　林　幸ニ
藤原　紀嘉

第37回総会に メッセージ・祝電を寄せていただいた団体

日本医療労働組合連合会／JMITU（日本金属製造情報通信労働組合）／全国生活と健康を守る会連合会／日本年金者組合／全国生協労働組合連合会／消費税廃止各界連合会／全日本民主医療機関連合会／自由法曹団／日本中国友好協会／東京土建一般労働組合／非核の政府を求める会常任世話人会／全国保険医団体連合会／日本婦人団体連合会／日本国家公務員労働組合連合会／日本自治体労働組合総連合／日本民主青年同盟／第71回日本母親大会実行委員会／全国労働組合総連合／全日本建設交運一般労働組合／全国商工団体連合会／新日本婦人の会／全国革新懇（平和・民主・革新の日本をめざす全国の会）／農民運動全国連合会／あかつき印刷　（到着順・24団体）